

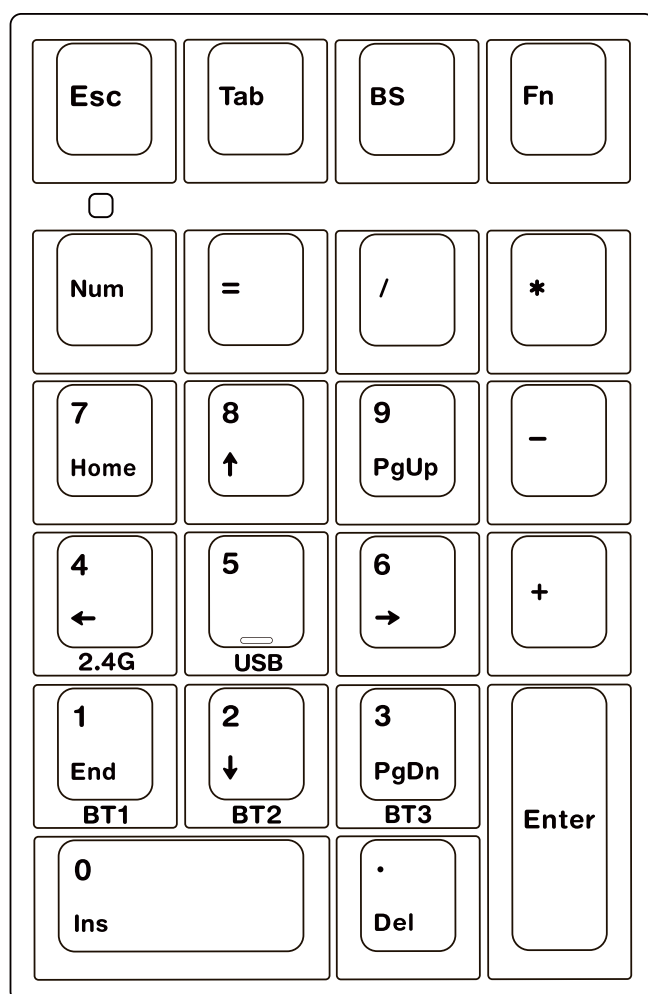


FC220TP User Manual

取扱説明書

Tri-mode Mechanical Nummeric Pad
3 接続モード対応メカニカルテンキーパッド

この度は、LEOPOLD FC220TP をご購入いただきありがとうございます。
ご使用いただく前に、必ず本書の内容をご一読、ご確認いただけますようお願い致します。
本紙に記載された内容は製品やOS のバージョンによって変更される場合がございます。
記載事項は正確を期すべく細心のチェックを行っていますが、内容の正確性については保証致しかねます。
当社は予告なしに内容を変更する権利を有します。
また、本紙内には付属しない製品の画像や用語が記載される可能性がございますが、付属品については
本紙やパッケージの付属品欄に記載がある物のみとなります。他社登録商標/ 商標をはじめ、本紙に記載
されている会社名、システム名、品名は一般的に各社の登録商標または商標です。











1. 安全上のご注意 (必ずお守りください)	・・・ 2～3ページ
2.FC220TP を使用する上でのご注意	・・・ 4 ページ
3. 無線に関する注意事項	・・・ 4～5ページ
4. ご使用いただく前に	・・・ 6 ページ
5. 製品内容	・・・ 6 ページ
6.FC220TP の接続方法	・・・ 7～10 ページ
7.Fn キーとの同時押し操作	・・・ 10～11 ページ
8.VIA との接続	・・・ 12～13 ページ
9.NumLock 非連動モード(*USB 有線接続のみ使用可)	・・・ 14 ページ
10.FC220TP の省電力モードについて	・・・ 15 ページ
11. 製品サポートについて	・・・ 15 ページ
12. 製品 FAQ について	・・・ 15 ページ
13. 製品仕様	・・・ 16 ページ
14. 保証規定について	・・・ 16 ページ

ご使用になる前に

1. 安全上のご注意 【必ずお守りください】

- | | |
|---|----------------------------|
|  危険 | 死亡または重傷を負う恐れが大きい内容です。 |
|  警告 | 死亡または重傷を負う恐れがある内容です。 |
|  注意 | 軽傷を負う事や物的損害が発生する恐れがある内容です。 |

-  気を付けて頂きたい「注意喚起」の内容です
-  してはいけない「禁止」の内容です
-  必ず実行して頂く「強制」の内容です

● 免責事項

お客様または第三者がこの製品の誤使用や使用中に生じた故障、その他製品の不具合によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。

1. 安全上のご注意【必ずお守りください】（続き）

⚠ 危険

- ⊘ ・本製品を火の中、電子レンジ等に入れたり、加熱したりしないでください。破裂や発火の原因となります。
- ⊘ ・本製品を直射日光の当たる場所や炎天下の車中、暖房器具の傍で使用・保管をしないでください。破裂や、発火の原因となります。
- ⊘ ・本製品の分解、改造を行わないでください。発熱、破裂、発火、火傷、感電の原因となります。また、分解、改造の痕跡がある場合、保証期間内でも交換、修理対応をお断りさせて頂く事があります。
- ⊘ ・各種端子をショートさせないでください。発熱、破裂、発火、火傷の原因となります。

⚠ 警告

- ⊘ ・本製品に強い衝撃や圧力を与えないでください。与えてしまった場合は、すぐに取り外して全てのケーブル類を抜き、一旦使用をやめてください。そのまま使用を続けるとショートや発熱、感電等の原因となります。
- ⊘ ・本製品の使用中に煙が出たり、異臭、異音、異常な発熱をした場合は、すぐにケーブル類を取り外して使用をおやめください。そのまま使用を続けるとショートや発熱、感電等の原因となります。
- ⊘ ・水分や湿気の多い場所では本製品は使用しないでください。
- ⊘ ・液体に本製品を入れたり、濡らしたりしないでください。
- ⊘ ・濡れた手で本製品に触らないでください。
- ⊘ ・小さなお子様の手の届く場所に本製品を設置、または放置しないでください。
- ⊘ ・プラグやコネクタやその周辺にほこりが付着した場合は、乾いた布で拭き取ってください。
- ⊘ ・ケーブルに負荷をかけたり、無理な力で巻いたりしないでください。
- ⊘ ・製品やケーブルを加工したり、傷つけたりしないでください。
- ⚠ ・各種コネクタやケーブルは根元までしっかりと差し込んでください。
- ⚠ ・各種コネクタやケーブルを挿したまま持ち運ばないでください。

⚠ 注意

- ❗ ・静電気による破損を防ぐ為、本製品に触れる前に体の静電気を取り除いてください。本製品の破損、または接続機器のデータが消失する可能性があります。
- ❗ ・動作環境内でご使用ください。機能低下、発熱等の原因となります。
- ⊘ ・以下のような場所で使用、設置をしないでください。感電や火災の原因となります。
 1. 強い磁界が発生するところ
 2. 火気の周辺や熱のこもるところ
 3. 漏電等を引き起こす、水や水場の近辺
- ⊘ ・有機溶剤で本製品を拭かないでください。
- ❗ ・本製品を熱がこもる状態で使用しないでください。
- ⊘ ・コネクタやケーブルは接続の方向を確認した上で差し込んでください。
- ⊘ ・使用中は熱を持ちます、低温火傷の原因となりますので長時間触れないでください。
※異常な発熱をした場合はすぐに使用をやめてください。

2.FC220TP を使用する上でのご注意

●健康に関するご注意

FC220TPを長時間使用すると、身体に障害を生じる可能性があります。長時間の使用は、手や腕、首、肩、背中、腰などに負担をかけます。不快感、疲労感、痛み、しびれ、筋肉の硬直などの症状が生じた場合は、直ちにFC220TPの使用を中止し、十分な休息をとってください。このような身体的な症状は、FC220TPを使用していないときに起こる場合があります。使用する際は、長時間の操作は避け、定期的に十分な休息をとってください。

●安全に関するご注意

FC220TPの落下事故を防ぐため、設置場所は平らな場所を選んでください。FC220TPは内部には電気回路と電子部品を搭載し、変圧装置を搭載した精密機器です。飲み物や液体がかかってしまうなどの理由で、異物などが内部に入り込まないようにご注意ください。万が一、液体物や異物が侵入した場合は、直ちにご使用を停止してください。

●分解しないでください

FC220TPを勝手に分解、修理、改造しないでください。お客様による製品の分解や修理、改造の痕跡が見られた場合、無償修理保証期間中であっても、無償修理の対象外となり、カスタマーサービスを受けることはできません。内蔵バッテリーの処分のため、やむを得ず分解しなければならない場合は、感電したり、手を切ったりしないよう十分注意して行ってください。
(※詳しくは当社ホームページの保証規定をご確認ください。)

●廃棄時の注意

FC220TPは、リチウムポリマーバッテリーを内蔵しています。危険ですので、**「燃えるゴミ」には絶対に出さないでください。**ご自身で分解して可能な場合、内蔵バッテリーは取り外し、ケーブルを絶縁し、お住まいの自治体の指定方法で処分してください。取り外せない場合も、同様にお住まいの自治体の指定方法で処分してください。

3. 無線に関する注意事項

- ・本製品は 2.4GHz 帯全域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能となります。電波方式は GFSK 方式で、干渉距離は10m。2.4GHz 帯は、医療機器や、IEEE802.11b/11g/11n 規格の無線LAN 機器などでも使用されています。
 - 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局※」が運用されていないか確認してください。
 - 万一、本製品と「他の無線局※」との間に電波干渉が発生した際は、使用場所を変更するか、本製品の使用を停止してください。
- ※「他の無線局」とは、2.4GHz 帯を使用する産業・科学・医療機器、他の同種無線局、工場の生産ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を 要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局を示します。
- ・本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- ・次の場所では、本製品を使用しないでください。
 - 電子レンジ付近の磁場や静電気、電波障害が発生するところ
 - 同じ周波数の電波を使用しているものの近く
- ・本製品は、工事設計認証を受けています。以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解／改造や、本製品の認証ラベルを剥がすこと。

3. 無線に関する注意事項(続き)

- ・パソコンのOSバージョンアップや定期的なアップデート等の後に、OS側の仕様でBluetoothのペアリング情報が消去される場合があります。以前のペアリング情報を削除し、パソコンやタブレット等の再起動を行った後に、ペアリング作業を再度やり直してください。
- ・付属の2.4GHzレシーバーを使って、ホスト機(パソコン)と本製品を無線接続を行う際は、レシーバーをUSB2.0ポートへ接続してください。USB3.0ポートへ接続すると、USB3.0のチップから発生する電磁波との電波干渉が発生し、接続が不安定になる、入力遅延が発生する、接続できないなどの問題が発生する場合があります。
- ・外付けのBluetooth受信機(USB dongle型)を使って、本製品とのペアリング/接続を行う際は、USB2.0ポートへdongleを接続してください。USB3.0ポートへ接続すると、USB3.0のチップから発生する電磁波との電波干渉が発生し、接続が不安定になる、入力遅延が発生する、接続できないなどの問題が発生する場合があります。
- ・接続先のパソコンと本製品の間、遮蔽物、特に磁性体(鉄の机など)がある場合、接続が不安定になる(*1)、接続できないなどの問題が発生する場合があります。接続機器と本製品の間、できる限り遮蔽物は置かずに使用してください。また、電子レンジ付近の磁場や静電気、電波障害が発生するところや、同じ周波数の電波を使用しているものの近くでは、周囲の環境により、接続が不安定になる(*1)、接続できないなどの問題が発生する場合があります。
- ・接続先のパソコン等が、Wi-Fiの2.4GHz帯を利用している場合も、混線が発生して、接続が不安定になる(*1)、接続できないなどの問題が発生する場合があります。一旦接続機器のWi-FiをOFFにするか、5GHz帯など他の周波数帯での接続に切り替えてください。
- ・Windows/パソコンの場合、再起動した際、使用可能だった本製品が突然動作しなくなったり、意図せずに接続が切れたり、再接続できなくなったりする場合があります。その場合は、OS側で“Bluetoothの省電力設定”をOFFにしたり、外付けのBluetooth受信機(USB dongle型)を使用している場合は、OS側の“高速スタートアップ”や“USBのセレクトティブサスペンド”を無効にしてください。
- ・電波干渉が発生して接続が不安定(*1)な場合や、電池の残量が少なくなり動作が不安定な場合は、下記の方法をお試しください。
 - 使用している外付けのBluetooth受信機(USB dongle型)の設定をOS側(または受信機の専用ソフト)で変更
 - USB接続のBluetooth受信機(dongle)自体を別のものに交換
 - 他のBluetooth機器の使用一旦中止/一緒に使用しない
 - Wi-Fiを2.4GHz帯以外に切り替える
 - 内蔵バッテリーを充電する。

* USB有線接続モードで同様の事象が発生しない場合は、上記のいずれかが原因です。

(*1) ……接続が不安定になった場合の事象例

- ・文字が入力され続けて止まらない
- ・入力の1文字目が入力されない
- ・一度しか押してないキーが何回も押したようになる(有線接続では発生しない)
- ・入力遅延が大きい etc...

4. ご使用いただく前に

■メカニカルスイッチに関して

- ・各スイッチの押下荷重特性には、 $\pm 5 \sim 10\text{gf}$ の公差があります。また、打鍵音や触感にも個体差があります。これら個体差は、不良・不具合には該当しません。詳細は、保証規定をご参照ください。
- ・メカニカルスイッチおよび本製品は、防水仕様ではありません、飲み物などの液体がかかったり、内部に侵入すると、基板やICなどの電子部品が不具合を引き起こすだけでなくスイッチ自体も故障して、使用できなくなります。液体がかかったり、内部侵入しないように注意してください。
- ・メカニカルスイッチおよび本製品は、防塵仕様ではありません。キースイッチ内部には、金属接点があり、ゴミやホコリ、汚れなどが侵入・付着すると、2重入力(チャタリング)等の入力誤作動を起こします。エアダスター、ブロアーなどを使用し、定期的に掃除を行なってください。特に、喫煙環境下でご使用になりますと、タバコのヤニが接点に付着したり、タバコの灰がスイッチに侵入して、入力誤作動を起こしやすくなります。

■キースイッチホットスワップについて

本製品は、キースイッチ自体が抜き差し/交換できる“キースイッチホットスワップ”に対応しています。スイッチ交換すること自体は、禁止しておりませんが、スイッチ交換に付随する下記の事象については、保証対象外です。交換時は十分ご注意ください。

- ①キースイッチ交換に伴う、元々装着されていたキースイッチ自体の故障や物理破損(ピン折れなど)
- ②キースイッチ交換に伴う、キーキャップ物理の紛失、物理破損
- ③キースイッチ交換に伴う、キーボードの基板や基板実装された電子部品の物理破損

■OS側にハードウェアキーボードレイアウトの設定について (WindowsOSの場合)

日本販売モデルは、=キーのキーコード割り当てに関して、ハードウェアキーボードレイアウトが、「日本語106/109キーボード」設定の状態です。正しく動作するように、ファームウェアを最適化しています。

もし、一緒に使用する物理キーボードが英語配列キーボードで、OSのハードウェアキーボードレイアウト設定が、「英語101/102キーボード」のときは

- ・VIAを使用して、=キー位置に、英語配列キーボードの =キーのコードをマッピングして使用するか、
- ・ファームウェアを英語配列仕様に変更してください。

(*ファームウェアの変更方法は、弊社ホームページの ["よくある質問"](#) をご参照ください。)

5. 製品内容

- ・FC220TP本体 ... 1台
- ・USBケーブル (USB-C→USB-A) ... 1本
- ・キースイッチ&キーキャップ引き抜き工具 (一体型) ... 1本
- ・専用無線レシーバー (2.4GHz接続モード用/USB dongleタイプ) ... 1個
- ・スペアキースイッチ... 2個
- ・保証書カード (日本語/取扱説明書WEBリンクQRコード記載) ... 1部
- ・QuickStartGuide (英語、韓国語、中国語[繁体字、簡体字])

注意 ご使用の前に、内容物が全て揃っていることをご確認ください。
梱包には万全を期しておりますが、万が一不足品などがございましたら当社サポート窓口までご連絡ください。

6. FC220TP の接続方法

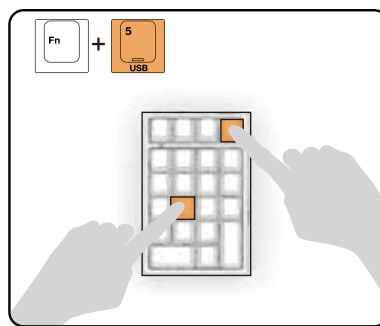
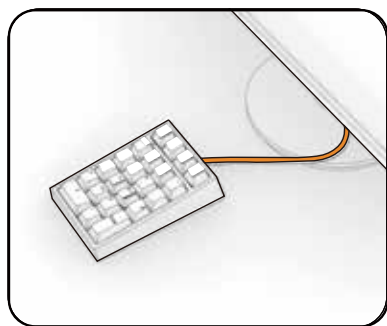
有線接続する場合 (USB有線接続モード)

1 USBケーブルを接続する

付属のケーブルのUSB-Cコネクタを、FC220TPのUSBポートに挿し込み、もう一端のUSB-Aコネクタをパソコン側のUSBポートへ挿し込みます。

2 FC220TPをパソコンに認識させる

- FC220TP側のUSBポート右横にある、「無線モードスイッチ」がOFFの時 USBケーブルを接続すれば、パソコンが自動的にFC220TPを認識します。
- FC220TP側のUSBポート右横にある、「無線モードスイッチ」がONの時 USB有線接続チャンネルへの切り替えが必要なため、FC220TPが自動認識されない場合があります。その際は、「Fnキー + テンキー5キー」を押して、USB有線接続チャンネルへの切り替えてください。切り替わると、FC220TPがパソコンに認識されます。



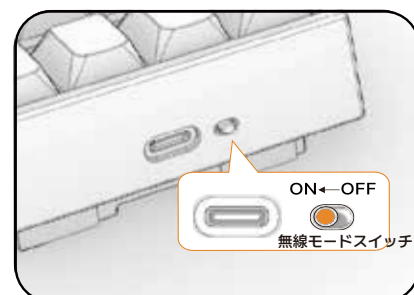
無線接続を行う前に

- ・ USBケーブルでパソコンと繋ぎ、充電してから使用してください。
- ・ バッテリーの残量は、FC220TPのキー操作とバックライトLEDの点灯で確認できます。操作方法は、本書10ページをご確認ください。
- ・ 本製品のバッテリーへの給電は、最大5V/800mA(4W) です。USB規格に準拠していない、USBケーブルや急速USB充電器等を使用して充電すると、過電流や過電圧により、破損、破裂、発火の原因になります。絶対に充電に使用しないでください。
- ・ 満充電状態で、充電し続けるとバッテリーの故障、破損、寿命が短くなる場合があります。充電完了後は、USBケーブルを取り外し、充電を停止してください。
- ・ 長期間使用せずに保管するとバッテリーが完全放電し、使用できなくなる場合があります。定期的に充電を行うようにしてください。

2.4GHz無線接続する場合 (2.4GHz接続モード)

1 FC220TP本体を2.4GHz接続できるように準備する

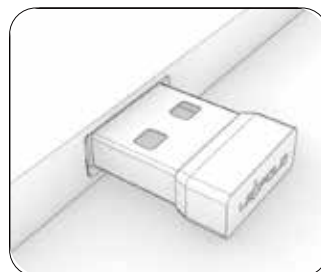
FC220TP本体の「無線モードスイッチ」をONにします。



6. FC220TP の接続方法 (続き)

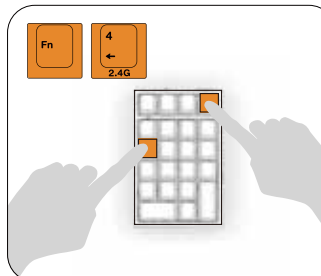
2 専用レシーバーを準備する

付属の専用無線レシーバーを、パソコンのUSB-Aポートに挿し込みます。(初めて接続する際は、ドライバーがインストールされます)



3 レシーバーとFC220TP本体を接続する

レシーバーがOSで認識されたら、FC220TPの「Fnキー+テンキー4キー」を押すと、FC220TPとレシーバーが接続され、パソコンで使用可能になります。

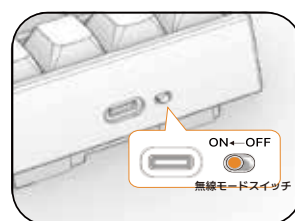


BT無線接続する場合 (BT接続モード)

*Windows11 / OS標準のBluetooth機能を使用した場合を例に説明します
*エクスプローラーがダークモードの状態の画面を使用しています。

1 FC220TP本体をBT接続できるように準備する *これはFC220TP側の操作です

FC220TP本体の「無線モードスイッチ」をONにします。



2 "設定"の画面を表示する *これはパソコン (OS)側の操作です

操作方法1: スタートメニューから起動する

- A. "スタート" ボタンをクリックして、スタートパネルを表示します
- B. スタートパネルにピン留めされた "設定" アイコンをクリックし "設定" 画面を開きます。

操作方法 2: システムメニューから起動する

- A. "スタート"ボタンの右横の検索窓に"設定"と入力します。
- B. 表示されたシステムメニューから "設定" を選択します。



検索窓

「スタート」ボタン(*Windowsマーク/タスクバー左端)

3 "Bluetoothとデバイス"の画面を表示する。 *これはパソコン (OS)側の操作です

"設定"画面の左側にあるメニューから、"Bluetoothとデバイス"をクリックします。"Bluetoothとデバイス"の画面で、"Bluetooth"が"オン"になっていることを確認します。"オフ"になっている場合は、"オン"にします。



4 "デバイスを追加する"の画面を表示し、パソコン側のペアリングの準備をする

*これはパソコン (OS)側の操作です

"Bluetoothとデバイス"の画面上部の "デバイスの追加"大ボタン、もしくは中のデバイスの横に表示された"デバイスの追加"中ボタンをクリックします。



6. FC220TP の接続方法 (続き)

5 FC220TPをペアリングモードにする *これはFC220TP側の操作です

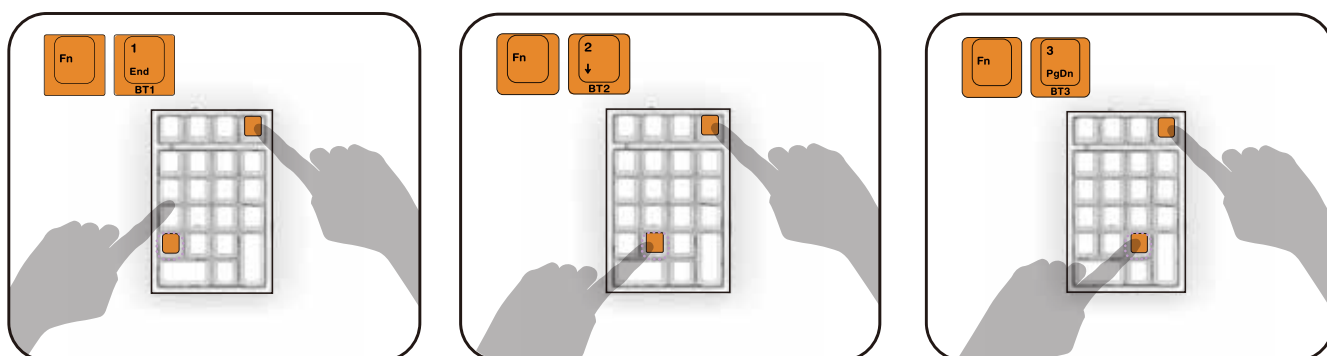
最大3台のホスト機 (パソコン等) とペアリングができます。3つあるBTチャンネルから1つのチャンネルを選択し、ペアリングモードを開始します。

【ペアリングモード開始方法】

チャンネル1: Fn+ テンキー1(BT1)を同時に長押し
(*モード開始で、テンキー1位置のバックライトLEDが素早く点滅)

チャンネル2: Fn+ テンキー2(BT2)を同時に長押し
(*モード開始で、テンキー2位置のバックライトLEDが素早く点滅)

チャンネル3: Fn+ テンキー3(BT3)を同時に長押し
(*モード開始で、テンキー3位置のバックライトLEDが素早く点滅)



6 "デバイスを追加する"の画面で、"FC220TP_*"を選択する *これはパソコン (OS)側の操作です

"デバイスを追加する"の画面に、"FC220TP_*"が表示されます。

*に該当のチャンネルが入ります。下記は、チャンネル1で接続した場合で記載しています

(注意: パソコンがデバイス情報を読み取り終わるまで"キーボード"と表示される場合があります。)



"FC220TP_1"の表示をクリックし
選択します。

7 ペアリング→接続の完了 *これはパソコン (OS)側の操作です

接続が完了すると、"デバイスの準備が整いました!"と表示され、"FC220TP_1"の下の表示が"接続済み"に変わります。"完了"ボタンを押して、表示を閉じます。



他のホスト機と他のBTチャンネルでペアリング/接続を構築するには、それぞれ **5** ~ **7** のプロセスを別途行ってください。

6. FC220TP の接続方法 (続き)

8 各チャンネル設定後の、チャンネル切り替え

各チャンネルとのペアリング後、接続先を切り替えるには下記の操作を行ってください

【各チャンネルに登録したホスト機と再接続】

- ・ BTチャンネル1 : Fn + テンキー1(BT1) を同時に押す
- ・ BTチャンネル2 : Fn + テンキー2(BT2) を同時に押す
- ・ BTチャンネル3 : Fn + テンキー3(BT3) を同時に押す

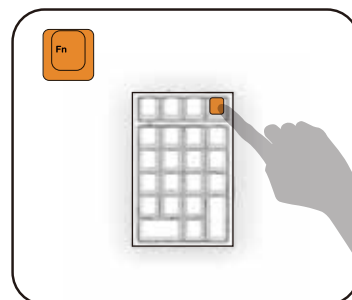
※注意：チャンネル切り替えのキー操作は、“長押し”ではありません。
長押しすると、ペアリングモードが開始されてしまい、再接続できません。

7. Fn キーとの同時押し操作

【機能操作】

Fnだけを押す …… 接続中のチャンネル確認

- BT1 : テンキー1のバックライトLEDが青で点灯
- BT2 : テンキー2のバックライトLEDが青で点灯
- BT3 : テンキー3のバックライトLEDが青で点灯
- 2.4Ghz : テンキー4のバックライトLEDが青で点灯
- USB有線 : テンキー5のバックライトLEDが青で点灯



	テンキー1 テンキー2 テンキー3 テンキー4 テンキー5	BT1チャンネルのホスト機と接続 BT1チャンネルのホスト機と接続 BT1チャンネルのホスト機と接続 2.4Ghz接続 USB有線接続
Fn +	ESC 同時長押し	キーロールオーバーの切り替え (*トグル切り替え) ・ 6KRO : ESCキー下部LEDが白色で3回点滅 (初期状態) ・ NKRO : ESCキー下部LEDが青色で3回点滅
	BS (BackSpace)	エコモードのON/OFF (*トグル切り替え) ・ エコモードON : NumLockインジケータ機能が常時OFF ・ エコモードOFF : NumLockインジケータ機能がON (初期状態) <small>(*通常モード時、インジケータが点灯するかどうかは、パソコンのNumLock状態に依存します。 パソコンのシステムNumLockがOFFの場合は、エコモードがOFFでもインジケータは光りません。)</small>
	Tab 同時長押し	バッテリー残量チェック (*) ・ 満充電: 全てのバックライトLEDが 緑で点灯 ・ 動作に十分な充電状態: 全てのバックライトLEDが オレンジで点灯 ・ 残量が少ない (充電推奨) : 全てのバックライトLEDが 赤で点灯

7. Fn キーとの同時押し操作 (続き)

【LEDバックライト操作】

Fn +	NumLockキー	LEDバックライト機能のON /OFF ON (初期状態) /OFF (*トグル切り替え)
	テンキー6	LEDバックライトの変化スピードの変更 レベル1 →レベル2 →レベル3(初期状態) →レベル4→レベル5→レベル1... (ループ切替)
	テンキー7	LEDバックライトの基調カラーの変更 Blue(初期状態) →Purple→Magenta→Red→Orange →Yellow→Green→Cyan→Blue... (ループ切替)
	テンキー8	LEDバックライトの輝度 (明るさ) 変更 レベル1 →レベル2 →レベル3→レベル4 →レベル5(初期状態) →レベル1... (ループ切替)
	テンキー9	LEDバックライトのパターン変更 Cycle_all (初期状態) → Cycle_left_right → Cycle_up_down → Cycle_pinwheel → Dual_beacon → Raindrops → Typing_heatmap → Solid_reactive_simple → Solid_reactive → Multisplash → Solid_color → Breathing →Cycle_all... (ループ切替)
	テンキー - (マイナス)	LEDバックライトの彩度 (Saturation)変更 レベル1 →レベル2 →レベル3→レベル4 →レベル5(初期状態) →レベル1... (ループ切替)

【OSモード切り替え】

= (イコール) キー位置の割り当てキーコードが各OSに合わせ変更されます

Fn + テンキー 0 Ins 同時に3秒程度長押し (*トグル切り替え)	WindowsOSモード: テンキー 0 Insキー下部LEDが (初期状態) 緑色で3回点滅 (初期状態)
	macOSモード: テンキー 0 Insキー下部LEDが 青色で3回点滅 (初期状態)

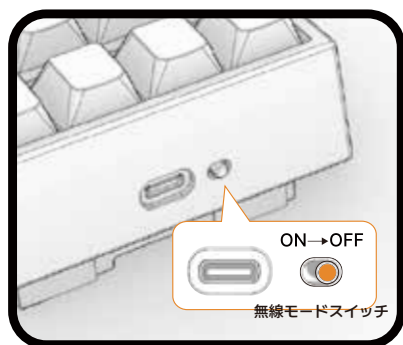
【各種設定リセット】

Fn +	テンキー = (イコール) 同時に3秒程度長押し	Bluetooth 設定リセット	テンキー = キー下部LEDが 赤色で3回点滅
	テンキー / (スラッシュ) 同時に3秒程度長押し	キーリマップ 設定リセット	テンキー / キー下部LEDが 赤色で3回点滅
	テンキー * (アスタリスク) 同時に3秒程度長押し	Bluetooth & キーリマップ 設定リセット	テンキー * キー下部LEDが 赤色で3回点滅

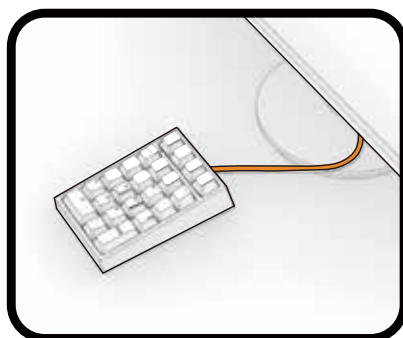
***注意:**

FC220TP側のBluetooth設定の初期化しても、OS (パソコン) 側の設定情報は連動して初期化はされません。OS側でもペアリング情報の削除を必ず行ってください。

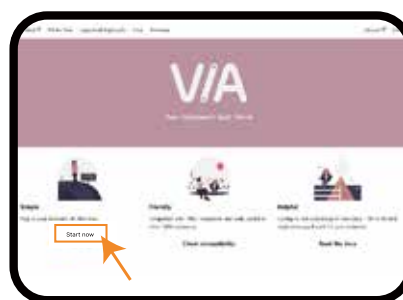
8.VIA との接続



1. 「無線モードスイッチ」が OFF であることを確認して、付属のケーブルの USB-C コネクタを、FC220TP の USB ポートに挿し込みます。



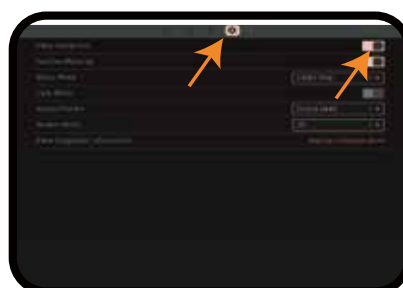
2. もう一端の USB-A コネクタをパソコン側の USB ポートへ挿し込みます。



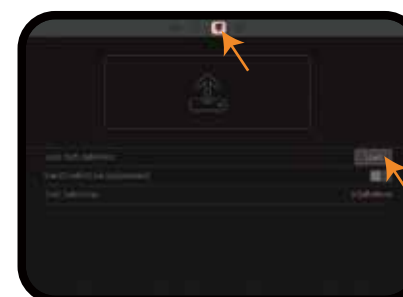
3. パソコン側で、WEB ブラウザソフト (Microsoft Edge、Google Chrome、Opera のいずれか) を立ち上げます。
<https://caniusevia.com/> にアクセスします。

「**Start Now**」 ボタンをクリックします。

合わせて、別タブまたは別ウィンドウで、FC220TP の製品ページにアクセスし、ページ内の仕様欄にあるリンクから、**JSON ファイル**をダウンロードし、保存しておきます。

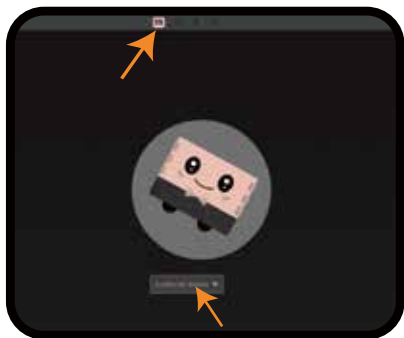


4. 設定アイコン (歯車アイコン) をクリックし、設定画面で、「**Show Design Tab**」(デザインタブを表示) のスライドスイッチが ON になっていることを確認します。
(なってない場合は、ON にします)



5. 隣の **Design アイコン (ブラシアイコン)** をクリックします。「Load Draft Definition」(ローカルレイアウトを読み込む) の横の「**Load**」(読み込み) ボタンをクリックし、3 でダウンロードした、JSON ファイルを読み込みます。

8.VIA との接続 (続き)



6. 左端の **CONFIGURE** アイコンをクリックし、デバイスとの接続画面に戻ります。

「Authorize device +」(デバイスを認証+) ボタンをクリックします。



7. 接続要求ポップアップの **「FC220TP」** (1 回目以降は **FC220TP- ペア設定済み** と表示) をにマウスカーソルを合わせてクリック→色を反転させ、下の **「接続」** ボタンをクリックします。



8. オンスクリーンキーボードが画面に表示されたら接続完了です。CONFIGURE 画面で、お好みのキーリマップ設定を行い、保存してお使いください。

注意

- ・VIAは、キーボードやマウスといったHID (ヒューマン インターフェース デバイス) を、専用のドライバやソフトウェアをインストールすることなく、Webブラウザ (JavaScript) から直接制御・通信できるようにするWeb標準技術である、WebHID API を利用したサービスです。WebHID APIに対応しているのは、Google ChromeやMicrosoft EdgeなどのChromiumベースのブラウザのみです。Safari等では使用できません。また、AndroidやiOSのブラウザから使用することはできません。
- ・VIAの使用方法 (キーリマップの設定詳細) については、VIAのGithubページやDiscordフォーラム等を参考にしてください

9.NumLock 非連動モード (*USB 有線接続のみ使用可)

主に日本国内販売 /14 インチサイズ以下のノートパソコンでよく見かける、「テンキー入力モード」機能を持つパソコンと一緒に利用する時に最適な、「NumLock 非連動モード」を用意しています。



キーキャップ下部の、“+ キースイッチ” と “ Enter キースイッチ” の間にある、隠しスライドスイッチを ON にすると、FC220TP の「NumLock 非連動モード」が利用可能です。

(*テンキー入力モード と NumLock非連動については、弊社ホームページ内の“[特設ページ](#)”をご参照ください。)

【利用上の注意 (必ずお読みください)】

1. 下記のパソコンでは、このモードを ON にする必要はありません。

- デスクトップパソコン全般
- 物理テンキー搭載の Windows ノートパソコン (主に 15 インチ以上)
- テンキー入力モード(内蔵テンキーモード)非搭載の Windows ノートパソコン
- Apple MacBook 全般

2. 通常モードと違い、非連動モードは、一度に多くのコード出力 / 処理を行う仕様です。

- ・テンキーの入力操作速度 (打鍵速度)
- ・使用しているパソコン側のソフトウェア / アプリケーションの処理能力
- ・ソフトウェア / アプリケーションの同時使用数 (バックグラウンド動作含む)
- ・セキュリティソフトの仕様
- ・パソコンの処理能力 etc...

がボトルネックとなり、意図しない動作(入力遅延、別の文字が入力される、表計算ソフトの選択セルが勝手に移動するなど)が発生する場合があります。そのため、入力速度遅延がより起こりやすい無線接続においては、当モードの動作保証ではきません。

10.FC220TP の省電力モードについて

バッテリーの電力消費を抑えるため、FC220TP自体にも省電力モード（スリープモード）機能を搭載しています。無線接続で10分以上FC220TPを操作しない状態が続くと、自動で省電力モードに入ります。キーボードのいずれかのキーを1～2度押すことで、FC220TPを省電力モードから復帰させ、入力を再開できます。

しかし、ホストPC側のBluetooth受信環境、受信機の仕様などが原因で、すぐ復帰しない（入力再開できない）場合があります。

また、FC220TP自体が省電力モードから復帰（LEDインジケータ等は点灯しているetc..）しても、パソコンとの接続が復帰しない場合は、OSやホストPCの省電力設定等が原因である可能性が高いです。下記のOSやホストPCの設定や、接続先のホストPCのサポートページ等をご確認ください。

< 確認事項（Windows/パソコンの場合） >

1. デバイスマネージャーから、Bluetoothデバイスドライバーのプロパティの“電力の節約のために、コンピューターでこのデバイスの電源をオフにできるようにする”をOFFにする
2. 高速スタートアップを無効にする
3. USBセレクトティブサスペンドを無効にする
4. パソコン/マザーボードのUEFIやBIOSから FASTBOOT（高速ブート）の機能をOFFにする

注意

- ・これらの機能は、OSやパソコン本体、マザーボードの機能です。全てのホストPCに当てはまる設定ではありません。
- ・各パソコンメーカー毎に仕様異なりますので、表示されない設定がある、表示名が上記説明と異なるなどの場合があります。
- ・上記設定は、必ず事象を解決することをお約束するものではありません。
- ・特定のホストPCで発生する場合は、そのホストPCの特性になるため、弊社では問題解決ができません。ホストPCの製造元にご確認ください。

11. 製品サポートについて

製品に関するご質問や修理の依頼のお問い合わせは、当社ホームページのサポート専用問い合わせフォームより承っております。（*お電話での対応は行っておりません）お問合せ頂く前に、当社ホームページのFAQや取扱説明書を予めご確認ください。

■サポート専用問い合わせフォーム

トップページ > カスタマーサポート > 修理のご依頼

<https://leopold.co.jp/customer-support/repair-request/>



12. 製品 FAQ について

当社ホームページに、製品に関する質問や使い方などの、“よくある質問”を記載したFAQページを用意しております。

■よくある質問ページURL

トップページ > カスタマーサポート > よくある質問

<https://leopold.co.jp/customer-support/faqlist/>



13. 製品仕様

モデル名	FC220TP PD Tri-Modeメカニカルテンキーパッド
キー配列	テンキーパッド
キー数	22キー
キーキャップ仕様	PBT 2色成形 (ダブルショット)
搭載キースイッチ	メカニカルキースイッチ (CHEERY MX互換)
キーピッチ	約19mm
キースイッチホットスワップ	対応
Bluetooth規格/対応プロファイル	Bluetooth5.1 Class2 /HIDプロファイル
通信方式	GFSK
電波周波数	2.4GHz
動作可能距離	最大半径10m以内 [無線接続時。周囲の電波干渉 (Wi-Fiルーター等無線機器、電子レンジなど) や遮蔽物なき事]
USBポートタイプ	USB Type-C (USB-C)
電源	[USB有線接続時]USB/バスパワー [Bluetooth接続/2.4GHz通信接続時]2000mAhリチウムポリマー内蔵バッテリー
連続使用時間	最大22時間(*内蔵バッテリー駆動時)
キーロールオーバー	Nキーロールオーバー (6キーロールオーバー切替可能)
キーリマップ機能	有 (VIA/QMK *USB有線モードのみ有効)
対応OS	Windows11、Windows10、macOS
動作温度	10°C~40°C
本体寸法	横幅約87.6~90mm x 奥行約132.2mm x 高さ約26~38mm (*キーキャップ含む)
本体重量	約237g(*ケーブルは含まない)
製造国	中国

14. 保証規定について

製品の保証規定に関しては、製品箱に同封の製品保証書および当社ホームページの保証規定記載ページをご確認ください。

■サポート専用問い合わせフォーム

トップページ > カスタマーサポート > 保証規定

<https://leopold.co.jp/customer-support/warranty-policy/>



レオポルド
LEOPOLD 株式会社
<https://www.leopold.co.jp>